

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管

一般医療機器 短期的使用口腔咽頭エアウェイ 70259000

Vital Signs 経口エアウェイ

再使用禁止

【警告】

〈適応対象（患者）〉

1. 咽頭反射が残っている患者では、嘔吐、喉頭痙攣を誘発することがあるので注意すること。

〈使用方法〉

1. 挿入後、開口部が閉塞されていないことを確認すること。[不適切な挿入により、舌を押し込み、十分な気道確保ができないおそれがある。]

【禁忌・禁止】

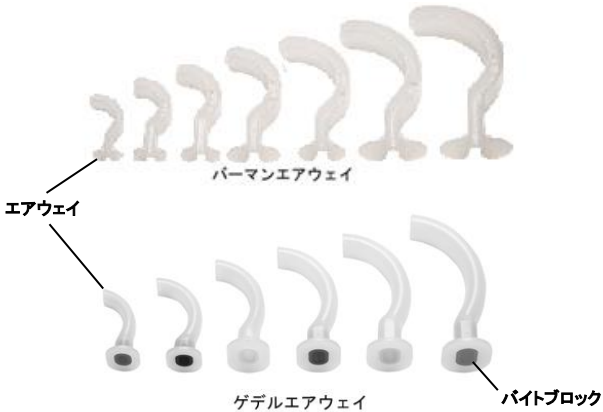
1. 再使用禁止

〈適応対象（患者）〉

1. 開口困難、巨大舌など本品の挿入が困難な患者には使用しないこと。[適切な気道確保ができないおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



カタログ番号	品 名
2540	パーマンエアウェイ 4cm
2550VS	パーマンエアウェイ 5cm
2560	パーマンエアウェイ 6cm
2570	パーマンエアウェイ 7cm
2580EU	パーマンエアウェイ 8cm
2590	パーマンエアウェイ 9cm
2500EU	パーマンエアウェイ 10cm
3550EU	ゲデルエアウェイ（青）5cm
3560EU	ゲデルエアウェイ（黒）6cm
3570EU	ゲデルエアウェイ（白）7cm
3580EU	ゲデルエアウェイ（緑）8cm
3590	ゲデルエアウェイ（黄）9cm
3500EU	ゲデルエアウェイ（赤）10cm

2. 構造・構成ユニット
- 1) パーマンエアウェイ：両溝型
 - 2) ゲデルエアウェイ：内腔型（カラーコード）

3. 材質

血液・体液・粘膜等に接触する部分の原材料を以下に示す。
エアウェイ：ポリエチレン

4. 作動原理

本品は患者の口腔内に挿入し、気道の開存性を維持することにより、舌根沈下による気道閉鎖を防止し、口腔から咽頭腔に至る呼吸を確保する。歯に当たる部分は歯咬によるバイトブロックの機能を持つ。中空構造のゲデルエアウェイと H 型構造のパーマンエアウェイの 2 種類がある。

【使用目的又は効果】

短期的使用を目的として、ガス交換又は吸引時に気道の開存性を維持するために口腔のみに挿入する湾曲したプラスチック製のチューブをいう。本品は、舌による気流遮断の防止に有用である。本品は単回使用である。

- 【使用方法等】**
1. 患者に合わせた適切なサイズのエアウェイを選択する。
 2. 気道を確保するために患者の頭部を後屈し、顎先を引き上げる。（但し、頸椎損傷が疑われる患者では頭部後屈は行わず頸椎が動揺しないよう、固定した上で慎重に使用すること）
 3. 患者の口、気道から異物を取り除く。
 4. エアウェイ先端を口蓋側に向けて口腔内に挿入する。半分ほど挿入したら、舌を押し込まないように注意しながら、本品を 180° 回転させ、舌を持ち上げながら舌根部へ向けて挿入する。

- 【使用上の注意】**
- 〈重要な基本的注意〉
1. 使用後は感染性廃棄物として処理し、再使用しないこと。

* **【保管方法及び有効期間等】**

〈有効期間〉

使用期限はパッケージに記載。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：
バイエアメディカル合同会社
TEL：0120-951-321（カスタマーサービス）

外国製造業者：
バイエア メディカル インク（Vyaire Medical, Inc.）
国名：アメリカ合衆国